

「写経」のご案内

用紙、筆ペンは用意しています。
 7/3・9/4・11/6(日) イスで行います。
 前回のお知らせと日程を変更しました。
 久美浜湾を望む和室で、午前10時より 参加費 千円
 日常を離れた静かな時間をお過ごしください。

秋の「法話の会」のご案内

10月23日(日) 午前10時より

毘沙門天像の修理が始まります

5月中旬、毘沙門天像を修復するための搬出作業が行われました。この度修復をお世話になるのは滋賀県大津市の楽浪文化財修理所様です。

修復期間は令和7年3月までの3年間で予定されております。修復の勧募もこの間行ってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

千円以上御寄進頂きました方には、**毘沙門天金箔押し特別御朱印**を返礼として授与させていただきます。



如意寺 本尊会 **千日会** 8月9日

「千日会」はこの日観音様にお参りすると、千日分の功德があるといわれる観音信仰に基づく仏教行事です。如意寺の千日会は久美浜の夏の縁日として、花火、灯笼流し、大文字焼きなどが行われる幽玄の火のお祭りとしても知られています。

今年は一昨年より中止されていた灯笼流しも行われます。

午後7時～

- 千日会法要(本堂)
- 特別護摩祈願(不動堂)

午後7時半～ ※花火はありません。

●灯笼流し

特別護摩 祈願灯ろう

一願 千円 一基 五百円

7/1より本堂・受所でお申し込みください。遠方の方はお電話等でも可能です。

『関西花の寺25ヶ所 花法要』のご報告

四月十日(土)、「関西花の寺」各寺院のご住職様達が如意寺に集会され、多くの参拝者が見守られる中、桜・みつばつつじ・シャクナゲなど満開の花に覆われた本堂で、『花法要』が厳か、かつ、華やかに厳修されました。

つづく『式典』では、霊場会会長様のご挨拶、山主の謝辞、御庭植治(株)次期十二代小川勝章様ご指導による「珠山千年石の庭」完成の感謝状授与式、つづいて小川氏による貴重なお話がありました。その後、本堂の周り縁で5名の方による津軽三味線演奏も圧巻でした。

暖かく絶好の花日和。時々吹くさわやかな“極楽のあまり風”に誘われてハラハラと舞う桜吹雪に、会場一帯にどよめきが湧き起こりました。

その後、「千年石の庭」で、「花の寺」ご住職様方や参拝の皆様が「般若心経」読経の声の中、子どもさん達が、庭のあちこちに春の花を植えたり苔を張る作業をしました。その後、全住職による「餅くばり」があり、無事終了しました。遠路からもご参列いただいた方々も沢山おられました。

本当にありがとうございました。ご報告と御礼を申し上げます。(山主)

花暦 夏～初秋

7月	8月	9月
キキョウ	トウテイラン	白萩
ヤブカンゾウ	フヨウ	ツリガネ
ユウスゲ	サルベリ	ツリフネソウ
		ワレモコウ

花情報は [Instagram\(kumihama.nyoiji\)](https://www.instagram.com/kumihama.nyoiji/)、Facebookでもご覧頂けます。



多くの方に参列頂きました



入堂



花法要



御庭植治 小川勝章様のお話



三味線演奏



千年石の庭、開庭供養と子供たちによる花植え



記念撮影

あなたは、どの「〇〇期」をお過ごしですか？

古代インドでは、一般の人の人生を学生期（がくしょうき ～30才）、家住期（かじゅうき 30～50歳）、林住期（りんじゅうき 50～75才）、遊行期（ゆぎょうき ～75才）に分けて考えます。

学生期は学問と修行の時代。家住期は仕事をして家を守る時期。林住期は夫婦で隠居してやりたいことを自由気ままにやってよい時期。いちばん魅力的(笑)なのが75歳以上の遊行期（ゆぎょうき）です。過去にしがみつかず、好きなことをやり、心の赴くままに旅をして、思いを語ったり人の話を聞いたり・・・。いいですねえ。ご存じの松尾芭蕉も西行法師も晩年は諸国を放浪しました。

お釈迦様（享年80歳）も遊行期の最期まで45年間も各地で説法をして仏教を説いて回られました。「遊」は、生活のためでなく心を満足させるために自由に動く、というのが本来の意味です。お釈迦様やすべての仏様の人助けは「遊び」であり、誰にも負担をかけず強制もされない、自由で無心のものであるということに、深く考えさせられます。



住職著書『苦を樂に生きる』
＜佼成出版社・東京＞

※ 当寺からもお送りします。1,000円+送料（180円）。振替用紙を同封します。本頁最下段にいずれかの方法でご注文ください。最寄りの書店、楽天、アマゾンでもご注文いただけます。如意寺受所では割引してお分けしています。

お盆は、「迎えて」、「送る」 彼岸は、「入って」、「帰る」

八月九日の「千日会」が終わるとすぐにお盆です。親族に会えるのも楽しみですが、何よりもご先祖さまに一年ぶりに再会できる日です。この日ご先祖様が浄土から帰ってこられるのでお団子やお花で温かく迎え、皆で懇ろに供養いたします。そういうわけで、お盆を「迎える」と言います。お盆が終われば、心残りですがまた来年会えることを楽しみに御霊(みたま)を「お送り」します。



これに対して、お彼岸は煩惱の此岸（この世）からこだわりのない覚りの世界である彼岸に「入り」、お彼岸の間に心を清らかにしてまた現実の世界に「帰り」ます。内容の違いが、始まりと終わりの言葉の違いに表れています。

「ミーハーの八十歳」

祖母がそうであったように
男たちを相手に碁を打ち
家族に得意の料理を食べさせて
いつも新聞をしっかりと読んで
世の中の動きを見極め
お上にも世間にも迷わされず

自分の意見を持ち
身体の許す限り、隣組の仕事も引きうけ
何にでも興味を持ち
テレビで相撲に興じ
好きな絵をかいて
投稿魔になり
演歌も嫌わず歌詞に酔い
小柄で出しゃばらず
まじめで

孫たちと丁々発止と渡り合い
超ズッコケ、ミーハーの八十歳になりたいと
今、囲碁教室に通っている



※大阪の60歳代の方
の詩を転載させていただきます。

ご祈禱について

家内安全・開運厄除・商売繁昌・息災健康・病氣平癒
交通安全(車禍い)・合格祈願・心願成就・仕事円満
安産祈願・初まいる・七五三詣 など

毎日9時～3時半 ご事情によりお越しになれない方は、
ご祈禱のうえ郵送致します。電話、HP等でお申し込みください。

永代供養について

当寺では、永代供養を行っています。宗旨、宗派は問いません。
生前予約もしていただけます。

永代供養の方法

- ・当寺持仏堂の納骨壇に個別に安置いたします。
- ・13年間安置し、その後は境内地内の永代供養墓に合祀します。
- ・永代供養料： 一霊 20万円。

供養のあり方：△ 「永代過去帳」に戒名を記入し、盆・春秋のお彼岸と年忌法要（一周忌、三回忌など）を行います。

○ ご質問・詳細は、電話、メール等でお問い合わせください。